

取引案件のお知らせ

2025年12月12日

Maples グループ、総額25億米ドルの日本向けプライベートエクイティ投資ファンド立ち上げに関してオリックスへ助言を提供

本書は英語で公表されたものを参考のために日本語に翻訳したものです。本書の正式言語は英語であり、その内容・解釈について差異が生じた場合には、英語版が優先されます。

Maples Group は、オリックス株式会社（以下「オリックス」）がカタール投資庁と共同で立ち上げた、日本企業を対象とする総額25億米ドルのプライベートエクイティ投資ファンド（以下「本ファンド」）に対し、アドバイザーとして支援しましたのでお知らせします。

オリックスは、日本国内のプライベートエクイティ投資において、今回初めてファンドを組成し、海外の第三者投資家の資金を取り入れます。本ファンドは、日本企業への投資を目的とし、1件あたりの投資規模は企業価値で300億円以上（約2億米国ドル）を見込んでいます。

当社の香港オフィスに拠点を置く弁護士チームがケイマン諸島における法律顧問を務め、投資運用チームのパートナーであるSharon YapとオブカウンセルのAidan O'Reganが率いました。また、Maples Group のアジア地域ファンド責任者であるEastern Fongとアジア地域フィデューシャリー責任者であるCharlie Sparrowが、それぞれ率いるファンド・サービス・チームとフィデューシャリー・サービス・チームと共に、ファンド管理サービスとガバナンス・ソリューションを提供し、本ファンドの設立に大きく貢献しました。

Sharon は本取引について、「この重要な案件において、オリックスを支援する機会を得られたことを光栄に思います。本件は、お客様の多様化するニーズに対して、柔軟で複合的なソリューションを提供するという当グループの取り組みをあらためて裏付けるものです。日本のプライベートエクイティ市場に対する世界の関心が高まる中、本ファンドの設立は日本の企業再編における投資機会の拡大を反映しています。」と述べています。

Eastern も、「本件は、Maples Group 内の複数のサービス部門における横断的な取り組みであり、複雑な取引でお客様をサポートする当グループの卓越した能力を示すことができました。」と述べています。

Maples Group のファンド＆投資運用事業では、業界の大手企業や市場の新規参入企業に対し、英領バージン諸島、ケイマン諸島、アイルランド、ジャージー、ルクセンブルク籍のファンドの組成と設立に関する助言を提供し、支援しています。

以上

Maples Group について

Maples Group は、主要な国際的法律事務所である Maples and Calder を通じて、世界各地の金融機関、機関投資家、企業、個人顧客に対し、英領バージン諸島、ケイマン諸島、アイルランド、ジャージー、ルクセンブルクの法律に関する助言を提供しています。世界の主要な法域にオフィスを構え、特に企業商務、財務、投資ファンド、訴訟、信託分野に強みを持っています。Maples Group は、一流の法律顧問との関係を維持しながら、このような現地の専門知識を活用し、グローバルな事業イニシアチブのための総合的サービスを提供しています。詳細については、maples.com/services/legal-servicesをご参照ください。